

坂井市社協だより

Topics

- 地域と共に育む福祉共育活動 2P
- ボランティア・市民活動センター運営委員会の取り組み 3P
- 令和5年度市社協事業報告・決算 4P・5P
- いざというときに備えて自分たちにできること 6P
- 寄付・地域の活動紹介 7P

2024年
Vol.109 7月



坂井市社協だより

第109号
2024年7月

編集・発行／社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会
HP <http://www.sakaicityshakyo.jp/>
E-mail sakaicityshakyo@lake.ocn.ne.jp



きすのエスカベッシュ

エネルギー(1人分): 164kcal

★材料(1人分)★



- きす(開き) 6枚
- パプリカ(赤) 1/4個
- ピーマン 1個
- たまねぎ 1/4個
- 塩こしょう 少々
- 小麦粉 適宜
- サラダ油 適宜
- 白ワインペネガー 大さじ3
- マリネ液 砂糖 小さじ1
- 塩 小さじ1/2
- こしょう 少々
- おろしにんにく 小さじ1/2
- オリーブ油 大さじ3

★効能とレシピのポイント★

きすは、タンパク質をたっぷり含み、脂質が少ない白身魚で、ダイエットや健康づくりに役立ちます。さらにビタミンD・ビタミンB12・ナイアシンをたっぷり含む栄養価の高い魚です。旬のおいしい時期は6月～8月です。
「エスカベッシュ」とは、フランス料理版の南蛮漬けといえるメニュー。マリネ液のすっきりした香りが爽しい、口当たりもさわやかな大人向けの一品です。【マリネ液】は白ワインペネガーの代わりにレモン汁を使うとやさしい酸味になります。きすは熱いうちに【マリネ液】に漬け込みましょう。冷蔵庫で2日間くらい保存できます。

おじいちゃんおばあちゃんも
食べてニッコリ
夏の郷デイサービスの
～超簡単！レシピ～

★作り方★

- ①白ワインペネガー・砂糖・塩・こしょう・おろしにんにくをよく混ぜ合わせ、砂糖と塩が溶けたらオリーブ油を加えて【マリネ液】を作ります。
- ②パプリカ、ピーマンは細切り、たまねぎは薄切りにし、①に加えて混ぜます。
- ③きすは水でさっと洗い、ペーパータオルで水気をふきます。塩こしょうをふり、茶こしを使って小麦粉をまぶします。
- ④フライパンにサラダ油を入れて熱し、きすの皮目から両面を約1分間強火で焼きます。
- ⑤④を②に入れて約30分間漬け込みます。完成

相談のご案内

会場	いきいきサロンセンター あい愛 TEL 82-1170	坂井市役所 丸岡支所 TEL 68-5060	春江総合福祉センター (いちい荘) TEL 51-4545	坂井市社協本部 TEL 68-5070
8月	無料法律相談 5日(月) 松田 和也 弁護士	無料法律相談 6日(火) 三田 恵美子 弁護士	無料法律相談 21日(水) 島田 広 弁護士	無料法律相談 29日(木) 吉浦 勝正 弁護士
9月	無料法律相談 2日(月) 諸隈 由佳子 弁護士	無料法律相談 10日(火) 神田 芳和 弁護士	無料法律相談 18日(水) 朝日 宏明 弁護士	無料法律相談 26日(木) 市川 徹 弁護士

無料法律相談…開催時間は、13:00～16:00です。

各会場、開催日1週間前から電話予約にて受付します。※先着6名までお一人30分

相談予約、お問い合わせは、市社協/各支部まで。

※相談を担当する弁護士がすでに事件の相手方やその関係者からの相談や依頼を受けている場合、相談を受けられない場合がございます。

会場	三国コミュニティセンター	いきいきプラザ霞の郷	春江中コミュニティセンター	坂井老人福祉センター	坂井健康センター
8月	26日(月)	5日(月) 19日(月)	5日(月) 19日(月)	1日(木) 15日(木)	3日(土) 17日(土)
9月	9日(月)	2日(月)	2日(月)	5日(木) 19日(木)	7日(土) 21日(土)

結婚相談…相談員は、坂井市婦人福祉協議会の方です。

開催時間は、13:30～15:30です。

坂井健康センターの土曜日については、13:00～15:30です。

お問合せ先: 坂井市婦人福祉協議会 山崎まで 090-2123-0622

社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会

●本部

〒919-0521 坂井市坂井町下新庄18-3-1
総務課 TEL 0776-68-5070 FAX 0776-67-2807
E-mail: sakaicityshakyo@lake.ocn.ne.jp

地域福祉課 TEL 67-0699 FAX 67-2807
坂井市坂井地域包括支援センター TEL 67-5000 FAX 67-2807
ケアプランセンター TEL 67-5180 FAX 67-2807
ホームヘルパーステーション TEL 67-5152 FAX 67-2807
訪問入浴ステーション TEL 67-5181 FAX 67-2807
特定相談支援事業所 TEL 67-5150 FAX 67-2807

●みくに支部

〒913-0021 坂井市三国町楽円53-16-1(いきいきサロンセンターあい愛内)
TEL 82-1170 FAX 82-1593
いきいきサロンセンターあい愛 TEL 82-2020 FAX 82-1593

●まるおか支部

〒910-0242 坂井市丸岡町西里丸岡12-21-1(坂井市役所 丸岡支所内)
TEL 68-5060 FAX 67-2950

●はるえ支部

〒919-0412 坂井市春江町江留中10-15-1(春江総合福祉センター内)
TEL 51-4545 FAX 51-6269

●さかい支部

〒919-0521 坂井市坂井町下新庄18-3-1(本部内)
TEL 67-0699 FAX 67-2807

●三国希望園

〒913-0031 坂井市三国町新保42-2-7
就労継続支援B型 TEL 82-2365 FAX 82-2664
生活介護 TEL 82-3440 FAX 82-2664
放課後等デイサービス TEL 82-4440 FAX 82-2664
日中一時支援 TEL 82-4440 FAX 82-2664

●霞の郷デイサービスセンター

〒910-0224 坂井市丸岡町八ヶ郷21-7-1(いきいきプラザ霞の郷内)
TEL 68-5065 FAX 68-0067

●坂井老人福祉センター

〒919-0521 坂井市坂井町下新庄19-1
TEL 67-0640

この広報紙は、再生紙および植物性インキを使用し、環境に配慮しています。

どなたでも
ご参加ください!

第19回

坂井市社会福祉大会

こどもまんなか社会の実現のために
私たちができること

地域づくり
の視点から

笑顔あふれる
未来のために

令和6年9月21日(土)
13:00～15:30

会場 ハートピア春江
ハートピアホール(大ホール)
坂井市春江町西太郎丸15-22

●車いす ●情報保障(手話通訳・要約筆記)

式典 13:00～14:00

- 坂井市社会福祉協議会長表彰・感謝
- 来賓祝辞

基調講演 14:00～15:00

活動報告 15:00～15:30

- 市内実践者からの活動報告

展示コーナー

- パネル展示・市内障がい者施設自主商品販売

基調講演

こどもまんなか社会へのアクション

～みんなでえがく 地域の未来図～

大阪公立大学大学院
現代システム科学研究科教授
やまの のりこ
山野 則子 さん

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成金を活用しています。

寄付金・賛助会費

(令和6年5月1日～令和6年6月30日)

ありがとうございました

寄付金

アルミ缶収益金 7,950 円
匿名 2件 2,000 円

賛助会費

岩間 和代
内田 正義
坪田 長兵衛
匿名

(敬称略)

ふくし人★バトン

坂井中学校前で30年以上、新聞配達をさせていただいております。福井新聞販売店は配達中(AM1:00～5:30)に地域の見守り活動を行っています。

日中とは違い、人がほとんどいない状態になるため、一人で迷子やケガなどで助けを求めようとしても気づいてもらうのが難しい状況です。だからこそ、見守りが大切になります。

配達員は、いつも同じ時間に同じルートで配達をするため、異変や危険に気づきやすく、すぐに家族や関係機関に連絡するよう心がけています。

今後も地域のために取り組んでいきたいです。

福井新聞坂井販売店 オーナー 定池 慶之



学校で取組まれている福祉教育の紹介

坂井市立東十郷小学校

学年 4年生

取組み 福祉についての調べ学習
障がい者スポーツ体験
点字・手話体験学習



Teacher's & Student's Voice

調べ学習を通し生徒自身が学び、取り組みたい活動を実践しました。

障がい者スポーツ体験(ボッチャ、フライングディスク)と手話・点字の学習を行い、障がいを身近に感じることができました。

また、学習した手話を使い、6年生に手話コーラスをプレゼントしました。

これらの活動とおし、誰に対しても思いやりの心を持ち、助け合う心を育むことができました。



みんなの居場所

サロン名	まち協健康マージャン雀の会
開催日	月4回(毎週金曜日 13:30～16:00)
場所	春江東コミュニティセンター
参加者	約30名
主な取組	健康マージャン

運営者より

春江東コミセンにて、月に4回健康マージャンを開催しています！

「飲まない・吸わない・賭けない」のルールのもと、マージャン歴1年の初心者の方からマージャン歴70年近くのベテランの方まで幅広い世代の参加者が集い年3回開催されるクラブ内の大会に向け練習しています。あまり話す機会がなかった方ともマージャンを通して自然と会話が弾み、和気あいあいと参加者同士コミュニケーションを取りあっています。健康マージャンは日々の暮らしの中の楽しみであると同時にフレイル予防にも効果的です。

今後、より多くの皆さんが集まる場になるよう盛り上げていきたいと思っています。

※参加費は1回につき100円です。



地域と共に育む、福祉共育活動

多くの学校において「総合的な学習の時間」などで「福祉」について学ぶ授業が行われています。社会福祉協議会は、地域の中の様々な立場の人がつながり、こどもも大人も共に「ふくし」の心を育み、「共に生きる」ための学びとなる“共育”活動を目指しています。

今回は、社協が学校で取組んでいる『福祉共育活動』の一部をご紹介します。



1 多様性との出会いの場づくり

「社会の中での様々な人の立場を考える」機会となるように地域の活動に参加し、いろんな方とふれあう学習の場づくりをしています。

高齢者との卓球バレー体験交流会



※卓球バレーは、障がいのある人もない人も年齢を問わず誰でも一緒にプレーできるパラスポーツです♪

ボランティア体験



※ボランティアグループの活動を体験し、地域のサロンや居場所でも子どもたちが企画した内容を披露しています。

2 当事者とのふれあいや対話

当事者の想いを知ることが障がいを我が事に考えるきっかけとなるように、当事者と話し、ふれあう学習の場づくりをしています。

聴覚障がい当事者講師によるお話や手話体験



3 プロセスや活動内容の振り返り

こどもたちと共に体験後の自分の気づきや考えを振り返り、みんなで新たな発見につながる学習の場づくりをしています。

福祉共育サポーターと車いす体験



※福祉共育サポーターは、社協職員と体験時の説明や見守り・声掛けをさせていただく地域の方々です。

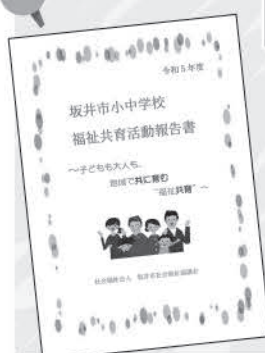


令和5年度

『坂井市内小中学校福祉共育活動報告書』を作成しました

本冊子では、担当の先生方が作成された学校で取組まれている活動について掲載しています。

地域の方々とのふれあいや共に体験したことは、相手を思いやる心、そして自分の地域を大切に想う心を育てていくのだと思います。社協は地域のみならずともにこれからも、こどもも大人も地域で共に育む“福祉共育”活動を推進していきます。



ボランティア・市民活動センター運営委員会の取組み



運営委員は、市民活動実践者、各支部ボランティア代表、教育・行政関係者、本会役員で構成されています。令和6年度より第10期運営委員のみなさまとともに、イベントの開催によるボランティア普及啓発など、さまざまな活動を行い、ボランティア活動を推進しています。



昨年度、運営委員と社協職員で令和3～5年の取組みの振り返りとともにボランティア・市民活動センターの意義（目指すこと）を話し合いました。

1 若年層の参加・関心

若年層（子ども）が本当に興味のあることは何なのか？

2 活動者育成

ボランティアの力が必要なこと（または活動者を増やして取り組みたいこと）は何？

3 社会参加

ボランティア活動を何のきっかけにしたい（またはどんな活動の場をつくりたい）？



ボランティア活動でセンターが大切にしたいこと

1 こどもの可能性と社会性を広げるきっかけに

実践 こどもたちの活動のきっかけづくり（福祉体験・こどもかいぎなど）

2 自分のやりたい活動や楽しい気持ちを誰かに届け、自分の元気のきっかけに

実践 気軽にボランティア活動者と出会える機会と体験の場づくり（ボランティアカフェ・つながり会など）

3 人や社会とのつながり、人や社会を支える仕組みのきっかけに

実践 当事者や地域活動者とボランティア活動者の出会いの場づくり（支部社協委員会など）

に取り組んでいきます。

令和6年度より オンライン登録 開始しました！

※登録様式は社協ホームページからもダウンロードできます。

ウェブ登録用QRコード



個人用



団体用

坂井市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター
ホームページアドレス
www.sakaicityshakyo.jp/volunteer/

参加者募集！

サマーボランティア体験2024

県内の福祉施設等で体験できるボランティア活動情報をご案内しています。

体験期間 7月24日(水)～9月29日(日)

サマーボランティア体験2024

福井県社会福祉協議会のHPから参加手順、活動プログラムを必ずご確認の上、お申込みください。



ボランティア登録も
よろしくお願ひします♪
ご興味のある方は、
ぜひご相談ください。

福井県ボランティアセンター
マスコットキャラクター
「ランティアー」坂井市バージョン

いざという時に備えて 自分たちにできること

災害が起こった時にはたくさんの支え合いが行われています。
ひとり一人の小さなできることの積み重ねが大きな力になります。
災害はいつ起こるか分からないため、日頃からの備えが重要です。
災害が起こった時に備えて、自分たちにできることは何かみんなで考えてみましょう。

平常時からのつながりづくり

日頃からの見守り活動



災害時にはまず自身の身を守り、また、地域の中でみんなが協力して助けあうことが大切です。

地域の中で、何かあった時に支援が必要な方などがいる場合、近隣住民同士で日頃から見守りを行うことが重要です。

見守りマップづくり



実際の地図を使用し、地域内で支援が必要と思われる世帯を把握し、情報を共有するために、見守りマップづくりに取り組んでいる地域があります。

これも大切な災害時の備えです。

今日からできる！

万が一のための備え

災害が起こった際に、ライフラインが途絶えても、数日間を乗り切るために、自分に必要なものは一人ひとり自分で準備しておきましょう。



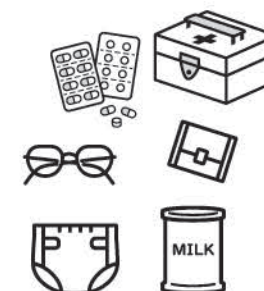
非常持ち出し袋の例

- 水
- 非常食
- 懐中電灯(電池)
- 携帯ラジオ
- モバイルバッテリー
- タオル
- ティッシュ
- マスク
- 着替え



その他必要なものの例

- 普段のんでいる薬
- お薬手帳
- メガネ
- 生理用品
- 紙おむつ
- 粉ミルク など



年に2回(夏・冬)は
中身の確認をしましょう

自分に必要なものを考えましょう！

令和5年度

活動ハイライト



見守りマップの作成



福祉共育事業の実施



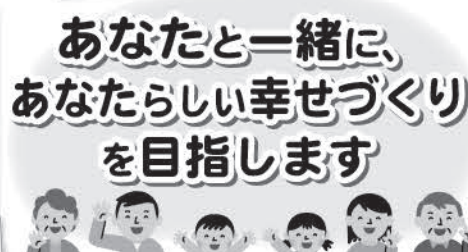
坂井市古城マラソンボランティア



地域の専門職同士のつながりづくり



あい愛まつり



あなたと一緒に、
あなたらしい幸せづくり
を目指します



ボランティアのつどい



かたいけのプラン中間評価



地域の居場所づくり支援



ボランティアカフェの開催

Pick Up

災害への支援、対応強化



福井県社協と連携し能登半島地震等への職員の被災地派遣、災害時行動要支援者支援制度等の地域防災についての研修や防災基礎講座などで防災への理解促進を図りました。在宅福祉課では全ての職員が参加し、BCP（事業継続計画）を策定しました。



令和5年度

事業報告 決算

社会福祉法人坂井市社会福祉協議会 事業総括

長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、with コロナ時代における事業活動の在り方を再考しました。また、5類感染症に移行後も感染予防を徹底しながら、社会福祉法人としての基盤強化を図るとともに、「第3次坂井市地域福祉活動計画(かたいけのプラン)」に基づき、関係機関と連携を保ち、地域福祉・在宅福祉を推進しました。

地域課題解決に向けた取り組みの成果

1 お互いさまの心で支えあえる
人づくりの推進

ボランティア・市民活動センターの運営強化についての検討や地域に出向いて生徒がボランティア活動を行う実践的な福祉教育学習などを実施し、地域に根差した人づくりを実施しました。

また、休眠預金活用事業を用いて、こどもの支援をテーマとした「ふくしえいが会」等を実施し、福祉の理解啓発を図りました。

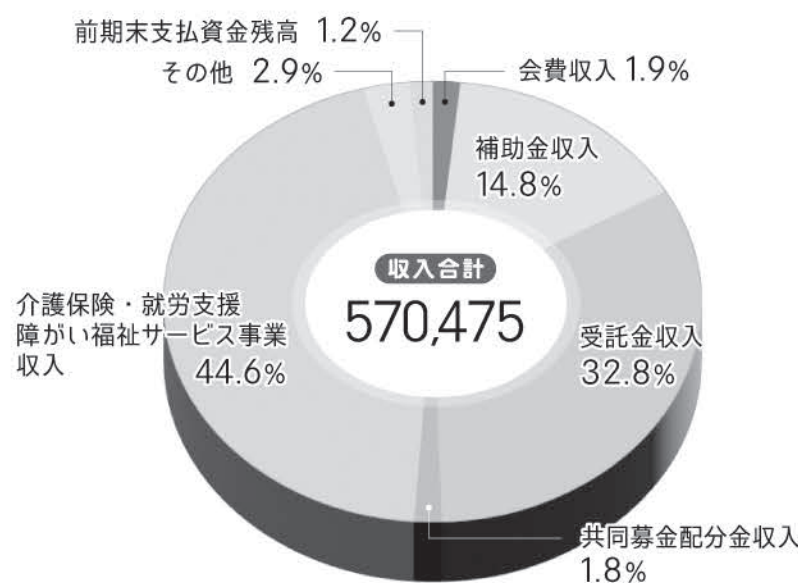
2 ふれあい、支え合いの
地域づくりの推進

地域福祉推進基礎組織（地区ふくしの会）を通じて、様々な福祉学習会や見守り活動に対する話し合いが実施され、地域内での福祉に関する情報提供や気になりな人の支援活動につながりました。

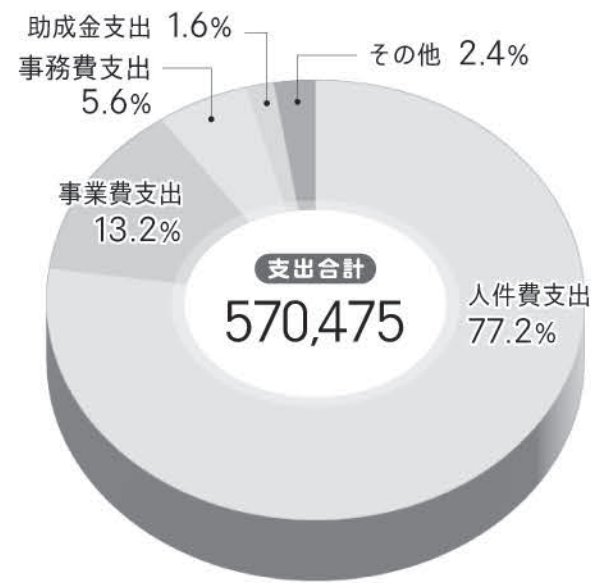
また、する人・される人の垣根を超えて地域の皆様と共に共生型のまちづくりを支援しました。

3 福祉活動を応援する
体制づくりの推進

地域づくり加速化事業や重層的支援体制事業評価ワークショップなど、行政や地域包括支援センター等の専門機関、住民等による事業評価や地域づくりの方向性を示した「ロードマップ作成」を行い、地域の支援活動の体制づくりを行いました。



収入		(金額：千円)
会費収入	10,928	
補助金収入	84,238	
受託金収入	187,071	
共同募金配分金収入	10,261	
介護保険・就労支援・障がい福祉サービス事業収入	254,450	
その他	16,804	
前期末支払資金残高	6,723	
合計	570,475	



支出		(金額：千円)
人件費支出	440,382	
事業費支出	75,551	
事務費支出	32,113	
助成金支出	9,102	
その他	13,327	
合計	570,475	